



杉

えがお・なかよし・チャレンジ
～自分らしさの発揮～

故郷を愛し心豊かにたくましく生きる
西山の育成

【第29号】

平成28年 1月 8日 (金) 発行 文責 平塚

躍動の年に！一やりきろうー

希望に満ちた平成28年がスタートしました。旧年中は本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきました感謝申し上げます。本年もどうぞよろしく願っています。

申年の今年も、元気に躍動する子ども達の幸せのために、職員一同力「チーム西山」を合い言葉に頑張りたいと思います。

保護者や地域の皆様にとっても、すばらしい年になりますように祈念申し上げます。

さて今年も始業式の日にも、箱根駅伝の話をしました。完全勝利、二連覇した青山学院大学（私の母校です）の原監督は、祝勝会で「学生の皆さん、（駅伝チームが成し遂げたように）自分の目標を一つずつ、半歩ずつクリアしていくことで、多少の困難はあるかもしれないが、必ず夢はかなうと思います。自分の夢に向かって努力を続けてください。」と言いましたが、青山学院大学をここまで強くしたその指導者の言葉だけに重みがあります。そのポイントとしては、

- ①創りたい組織に見合う人材を集める
- ②自立を基にした、規律からなる育成
- ③具体的な数字を挙げて、やりきる宣言



が挙げられます。この原監督の「3点セット」には、組織や、その中で個人が活躍するためのノウハウが凝縮されているのではないかと考えます。特に、②手出しをせずに見守りながらもやるべき事、守るべき事はしっかりやらせる。③いつまでもに、どのくらいやるのかを具体的な数字で目標にさせやらせる等は子ども達をしつかりと成長させる上でも大切な事と考えます。

子ども達一人一人に、箱根駅伝の「チームのために、一人一人が最大限の努力をする」選手達の風・雰囲気をもとった「応援旗」を渡しました。この旗から力をもらって、これからもチャレンジしながら自分を大きくして欲しいと思います。そして、具体的な目標を掲げ、是非最後までやりきりたいと考えます。そして、やり残した思いなく、1つ下の学年に「心のタスキ」をつないでいって欲しいと思っています。

今年もチーム西山で
～七日堂参り参加～

柳津の全国的にも有名な伝統祭り「七日堂裸参り」に、今年西山の職員も参加しました。

地域行事への積極参加を呼びかける担任がまずお手本をと、併せて、人数が

少なくなつた西山中の男子生徒の応援も兼ねて参加しました。

開催時間に近づき雪も降り始め素足には厳しい寒さでしたが、それでも例年よりはましな状態だったので、中学生はいつきに階段を駆け上がり、1番乗りでお堂に突入しました。しかし、綱登りになるとなかなか苦戦し、結局は天斗君（木島教頭先生も）のみが登り切りました。登れなかったものの、寒い中1時間以上一緒に「わっしょいわっしょい」していた西山の生徒及びボランティアの女子、参加した先生方に拍手ですね。大変貴重な体験ができました。

